

令和7年度（2025年度）函館市家庭教育支援事業 「家庭教育セミナー」実施要項

1 趣旨

この事業は、多くの保護者や教職員、地域住民等が集まる機会を活用して、家庭教育や子育てに関する専門分野の登録講師を派遣し、学習・研修会（以下「セミナー」という。）を開催することにより、家庭および地域の教育力向上を目的とする。

2 事業主体

函館市教育委員会

3 後援

函館市PTA連合会

4 事業の内容

セミナーの開催を希望する市内保育園・幼稚園・認定こども園・小・中・義務教育学校・高等学校のPTA、地域の団体等（以下、「団体」という。）に講師を派遣しセミナーを開催する。

「家庭教育セミナー」申込書の受け付け、講師の日程等の調整については生涯学習文化課が行う。

5 事業期間

令和7年（2025年）6月～令和8年（2026年）3月31日

6 受付団体数

8団体（先着順）

7 申込受付期限

令和8年（2026年）2月28日（土）

8 講師

別紙「講師一覧」の中から希望する講師とする。

9 経費

派遣講師の謝礼金は、生涯学習文化課が負担する。

ただし、謝礼金以外の経費については、開催を希望する団体が負担する。

10 その他

開催時に「参加者アンケート」を実施する。

家庭教育支援事業「家庭教育セミナー」開催の流れ

【セミナー開催の申込み】

- ・セミナーの開催を希望する団体は、「家庭教育セミナー申込書」を生涯学習文化課に提出してください。
- ・申込書等の様式を必要とする場合は、別紙案内の【申込・問い合わせ先】のメールアドレスまで連絡をお願いします。
- ・オンラインでの開催を希望する場合は、申込書提出前に予めご相談いただきますようお願いします。

【派遣講師の調整】

- ・生涯学習文化課で申込書を確認後、団体の希望する内容で実施可能かどうか、講師と調整いたします。派遣する講師、セミナーの日程が決まりましたら、生涯学習文化課が団体へその旨ご連絡します。
- ・生涯学習文化課からの連絡を受けた後、団体は、直接講師と講演内容等の詳細を相談してください。
(プロジェクターなどの機器の要・不要や配付資料の印刷についても確認してください。)

【セミナー当日の運営】

- ・セミナー当日における講師紹介等司会を含めた運営は、団体が行ってください。

【講師謝礼金支払い】

- ・セミナー終了後、「家庭教育セミナー報告書」に、回収した「参加者アンケート」、講師の配付資料を添付し、生涯学習文化課へ提出してください。
- ・オンライン開催の場合は、報告書・講師の配布資料のほか、セミナーの様子が確認できる画像（スクリーンショット等）を提出してください。また、メール等を活用し参加者アンケートを必ず行ってください。
- ・報告書を確認後、生涯学習文化課が、講師へ謝礼金を支払います。

セミナー開催の際の注意点等

- ・セミナー申込は、原則1団体につき1回とさせていただきます。
- ・参加募集のチラシ作成や参加者とりまとめは、各団体で行ってください。
- ・講師の都合等により団体の希望に添えない場合がありますので、ご了承願います。
- ・教職員のみで行う研修、学校での授業の一環など、本セミナーの開催趣旨と合致しないと思われる申込につきましては、お断りする場合があります。

講師氏名	所属等	専門分野・講演テーマ（一例）
1 木幡 恵子	函館短期大学食物栄養学科 名譽教授 北海道栄養士会函館支部長	【食育・食全般】 例「食べる事の大切さ・食べることで元気に」 ・野菜を食べる理由と工夫 ・幼児のアレルギー食について ・小児の肥満予防のための食事 ・食事のバランスについて
2 小葉松 洋子	湯の川女性クリニック 院長	【健康教育・社会問題】 医療全般、性教育、女性医療、性差医療、喫煙防止、薬物防止、生活習慣病予防、日本が疲弊している原因、歴史教育 例「産婦人科医師から子供達へ伝えたいこと」「次の世代にどんな日本を残したいですか？」
3 佐藤 香	NPO法人ウイメンズネット函館 理事長	【DV（ドメスティック・バイオレンス）と子どもへの影響】 例「DV被害を受けた子どもの状況」「DVは子どもへの虐待です」
4 諏訪 麻依子	北海道公立学校スクールカウンセラー 公認心理師 臨床心理士	【発達心理・カウンセリング】 例「子どもの心の発達と支援について」 【災害支援】 例「災害時の心のケア」
5 高柳 滋治	はるこどもクリニック 院長	【健康小児医学】【小児心身症】【子育て支援】【アドラー心理学】 例「病気には負けないからだつくり」「食物アレルギー」「豊かな心を育てる」「子育てで大切にしたいこと」「カウンセリングを学ぶ」 (講演可能日：木・土午後、月・火・水・金19時以降)
6 野村 俊幸	不登校・発達障害を考える保護者会函館アカシヤ 運営スタッフ 道南ひきこもり家族交流会あさがお事務局	【不登校・ひきこもり・いじめ】 社会福祉士・精神保健福祉士、不登校・ひきこもり・いじめへの対応についての講演多数。最近のテーマ例「不登校・ひきこもりの理解と支援～親と翁さんとソーシャルワーカーの立場から」
7 菊田 一哉	北海道教育大学教職大学院 准教授	【いじめ被害低減】 ・子どものいじめ被害低減のために家庭ができるることについて ・ネットトラブルに巻き込まれないために ・メンターがいじめ被害低減に果たす役割について
8 本田 真人	北海道教育大学函館校 教授 (主な資格) 博士（心理学）、公認心理師、臨床心理士、 学校心理士スーパーバイザー	【子ども（乳幼児～高校生）と親の心理学・カウンセリング】 ・子ども対象：ソーシャルスキルの心理学、ストレスの心理学（ソーシャルスキル、SOSの出し方、ストレスへの対処等） ・保護者対象：子育ての心理学、乳幼児期の遊びと学び（ほめ方、叱り方、子育てのストレスへの対処等）
9 三島 裕一	函館短期大学保育学科 非常勤講師 函館市神山児童館 指導員	【言葉・読書・幼児教育】 ・読書指導（幼児期の絵本読み聞かせ、児童・生徒のための読書指導） ・大人のための絵本講座 ・保護者と保育者のコミュニケーション ・保育者のための「話す・聞く・聴かせる」技術 ・大人のための読書案内
10 営森 仁之	函館市立桔梗小学校 校長	【ネットトラブル、ネット依存防止教育、情報モラル教育、情報教育関係】 ・子どもたちをネット・ゲーム依存にしないためには ・デジタル時代を生きる子供たちのために（子供たちの成長のためにできることは）